

挑 いどむ

その手で兆しをつかみとれ

下松市立末武中学校
学年通信 第3号
令和6年4月23日(火)

修学旅行のスローガンについて話し合いました。

修学旅行の基本的な意思統一のために、スローガンを決めることになりました。そこで、まずは学級単位で話し合っ、学級ごとに案をまとめました。



話し合いの司会進行は各学級の実行委員が務めます。貴重な学びの場になります。

学級では、生活班という、さらに小さなグループに分かれて話し合いました。

互いのスローガンの案を真剣に検討しています。

タブレット端末から得られる知識や情報を参考にしているクラスもありました。

学級から提案されたスローガン案を集約し、修学旅行実行委員会で内容を検討します。しかる後に、正式なスローガンが発表されることとなります。そのような過程を経ることで、修学旅行の目的や心構えなどを自分事として考え、結果としてスローガンが学年全体に浸透していくのです。

特別な教科道徳

道徳（正式名称は「特別の教科道徳」）の授業風景です。「考え議論する道徳」が提唱され、自分事（じぶんごと＝他人事の対義語）として考え、小集団での話し合いや学級全体での意見交換などをおして、道徳的心情や道徳的实践力を養うことが課題となっています。



道徳の時間は、いろいろな立場にいるさまざまな人の、多様な考えを知ったり、同じ事象でもさまざまに多角的な見方や考えがあることを理解したりする、いわば人間性そのものを育てる大切な時間なのです。今年度は「やまぐちっ子の心を育む道徳教育プロジェクト」推進校の2年次として、全校体制で研修を進めています。